

## 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

|               |                                                |
|---------------|------------------------------------------------|
| 事業名           | “森”をきれいに“畑”を活かす「ハンドメイドピザ窯」事業                   |
| 事業主体<br>(連絡先) | 特定非営利活動法人 飯綱高原よっこらしよ<br>(事務局：090-7011-9269 山室) |
| 事業区分          | (6)ア 農業の振興と農山村づくり                              |
| 事業タイプ         | ソフト・ハード                                        |
| 総事業費          | 949,954円 (うち支援金：723,000円)                      |

### 事業内容

次世代を担うこどもたちや市街地のファミリー層と一緒に、「ハンドメイドピザ窯」づくりを行った(設置場所：よっこらしよヤギ農場、仕様：耐熱ブロック2重ドーム構造、焼き床サイズ70センチ×70センチ)。基礎から本体ブロック積み、下屋設置まで、ハンドメイドで力をあわせて完成させた。

完成後は常時、薪を燃料に畑の直取り野菜を使った「手作りピザづくり体験」を提供することにより、森づくりと畑づくりに同時に楽しく参加できる仕掛けをつくった。これにより、里山でのあたたかなふれあいと交流の居場所を創出するコンテンツの一つができた

### 【完成したピザ窯での体験】



### 事業効果

- ピザ窯づくりに参加した児童生徒は、その後は自分ごととして森林や農地の再生活動にも参加するようになり、日常的な里山等の保全に関わりその活動を支える人材育成に確実に繋がった。
- 「手づくりピザづくり体験」の魅力的なプログラムが加わることで、当法人でこれまで提供してきた、間伐体験、クラフトづくり、農作業体験、そば打ち体験、ヤギとのふれあい体験などのプログラムとの相乗効果により、無関心や一番遠い存在だった層から、森づくり、畑づくりへの参加促進を進めることが可能になった。
- SDGsの掲げる17の目標のうち、「15陸の豊かさを守ろう」など7つの目標に貢献することができた。

### 【目標・ねらい】

- ①里山に関心のない層にも、楽しみながら、その魅力を伝える。
- ②里山の豊かさを多くの人の参加により保ち、その恵みを支える社会をつくることを目指す。

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

- 日常的な里山等の保全に関わりその活動を支える人材育成に確実に繋がった。
- 台風19号災害の影響で、広報効果があまり現れず、プログラム参加者は1組にとどまった。

### 今後の取り組み

- ピザづくりだけでなく、そば打ち体験、クラフトづくり、ヤギふれあい体験など他の体験メニューの参加も募り、活動へのリピーター化を促進する。
- チラシ等を作成、地元芋井地区や長野市内の公共施設に配架するとともに、理事・スタッフが口コミでの広報をして参加者増加をめざす。
- 持続可能な社会・地域づくりを実現するには、すべての人が意識して自分ごととしてアクションすることが大切である。楽しく「参加」できる「オンリーワン」なプログラムの充実を図っていく。